

# 令和7年度 志教育全体計画

宮城県本吉響高等学校

校 訓
響生・知性・至誠

本校の教育目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や人と響き合い、環境と調和して生きていくことができる感性豊かな人間の育成を目指す</li> <li>・高度情報化社会に適切に対応し、知的で且つ創造的に生きて行くことができる人間の育成を目指す</li> <li>・生徒一人ひとりの個性を生かすとともに、誠の心を持った人格形成や将来の自己実現に向けた教育を目指す</li> </ul>

生徒の実態、教師の願い
<p>明るく素直で、学習面や部活動など多方面に渡って前向きに取り組む生徒が多い。また他者を思いやる心を持ち、ボランティア活動に自主的に参加する生徒が多い。</p>

保護者や地域の願い
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の確立</li> <li>・基礎学力の向上</li> <li>・規範意識の醸成</li> <li>・公共心の醸成</li> </ul>

「志教育」の目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境と調和できるように、周囲のことを考え、協調性を持つ人間の育成</li> <li>・社会に自ら適応できるように、学校生活をおして自主性を身につける</li> <li>・授業や課外活動を通して、自分の将来像を考え、実現に向かう姿勢を養う</li> </ul>

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
<ul style="list-style-type: none"> <li>○さまざまな活動に参加することで、自己理解を深め、自分の可能性を探る。</li> <li>○自己評価や他人からの評価を受け、自分について客観的に見る視点を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さまざまな経験を礎に自分の生き方を見つめる。</li> <li>○講話や社会体験から擬似社会を体験し、自分の未来像をイメージする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団や組織の中で、社会性と規範意識を高める。</li> <li>○自分の役割を果たすことにより、達成感と責任感を身につける。</li> </ul>

各教育活動における取組の観点	
各教科	<p>基本的な学ぶ態度や学習に対する取り組みを身につけ、基礎学力の向上を図るとともに、将来を見越した系列ごとの特徴ある科目を選択することで、高校卒業後の自分の生き方を考える。</p>
道徳	<p>校訓にある至誠の意識をもって人と接することができるように講話や体験的な学習活動、課外活動を通して、社会で生きるための姿勢とマナーを身につける。</p>
総合的な探究の時間	<p>総合学科の科目の特性を生かし、1年次の産業社会と人間、2・3年次の総合的な探究の時間を活用し、3年間をおしての職業観の育成を図るとともに、進路啓発から高校卒業後の生き方についても深く考えることができるように指導する。</p>
特別活動	<p>行事や課外活動に積極的に参加し、自己研鑽に努めるとともに、周囲との協調性や責任感の育成を図る。</p>

各学年の取組内容	
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新入生オリエンテーション</li> <li>②科目選択</li> <li>③会社見学</li> <li>④進路別ガイダンス</li> <li>⑤職業別ガイダンス</li> <li>⑥卒業生・社会人講話</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>①オリエンテーション</li> <li>②面接練習</li> <li>③進路別（大学・専門・就職）ガイダンス</li> <li>④卒業生講話・社会人ガイダンス</li> <li>⑤履歴書の書き方</li> <li>⑥模擬就職試験</li> <li>⑦課題研究選択</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ガイダンス</li> <li>②課題研究</li> <li>③進路別ガイダンス</li> <li>④小論文・志望理由書・模試</li> <li>⑤課題研究発表会</li> <li>⑥ビジネスマナー講習</li> </ul>

家庭との連携
<p>家庭との連携を密に図り、基本的生活習慣の確立と健全育成に向け協力する。</p>

地域・企業との協働
<p>地域行事に積極的に参加し、地域における高校生の役割を自覚するとともに、社会の一員としての責務を果たすことで、社会に出るための意識を強く持たせる。</p>